

# ラモス® SG-Hi

kg

Lot No.

2017年3月改訂

貯法 室温保存

【成分及び分量】

品名	ラモスSG-Hi
有効成分	ピリプロキシフェン
含量	100g中ピリプロキシフェン5g

【効能又は効果】

畜・鶏舎内及びその周辺のハエ幼虫(ウジ)の駆除。

【用法及び用量】

畜・鶏舎内及び周辺のハエの発生場所に対して使用する。

ハエ幼虫(ウジ)：

1㎡につき500倍希釈液1Lを幼虫の発生場所に散布する。

堆肥の場合は、よく内部までしみ込むように、1000倍に希釈して散布量を2倍とする。

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- 本剤は効能・効果において定められた目的のみ使用する。
  - 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。すなわち、本剤は必ず希釈して使用する。
  - 希釈液の畜・鶏体への直接散布はしないこと。
- (使用者に対する注意)
- 病人、本剤に対する過敏症の人、妊婦、乳幼児等は、薬剤の影響の無い場所に移ってもらうこと。
  - 薬剤や化粧品等によって、アレルギー一症状やかぶれ等を起こしやすい体質の人は、薬剤の散布や処理作業に従事しないこと。
  - 散布にあたっては、防護具(長袖の作業衣、作業帽、保護メガネ、保護マスク、ゴム手袋など)及び使用する機械器具類は、あらかじめよく点検整備しておくこと。使用に際しては、防護具を必ず着用し、できるだけ身体の露出部を少なくして薬剤を浴びないようにするとともに、吸い込まないように注意すること。なお、屋内での使用の際は必ず換気を行うこと。
  - 使用後は必ず手や指を石けん等で洗うとともに、水で十分うがいをする。また、薬剤が皮膚についたときは直ちに石けん等でよく洗うこと。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- 散布に当たっては、かけむらのないよう散布すること。ただし、環境を汚染しないように乱用を避け、畜舎周辺の水田への使用は行わないこと。
- 畜・鶏舎内の衛生害虫の駆除に用いる時は、薬剤が畜・鶏体に直接かからないようにすること。

製造販売元

**SES** 住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社  
大阪府大阪市中央区道修町二丁目2番8号

承認指令番書号 農林水産省指令15消安第5166号

- 家畜・家禽の飼料、飼料箱、飲水、飲水器、搾乳機械、卵等はあらかじめ他へ移すかあるいは格納するなどの措置を施し、薬剤がかからないようにすること。採卵後または給餌前に散布すること。
- 平飼育の鶏及び豚の足元に糞が散乱した状況では使用しないこと。
- 小分けするときは食品用の容器等、誤用のおそれのあるものを使用しないこと。
- 使用に際しては必要量だけを取り出し、その都度使い切ること。
- 希釈液は用時調製し、使用すること。
- 本剤と他の薬剤を混合したり、加熱したりしないこと。
- 糞池、井戸、地下水などを汚染するおそれのある場所、蜜蜂、蚕(桑)、水棲生物等に被害を及ぼすおそれのある場所では使用しないこと。
- 使用済みの空容器等は他に転用せず、地方公共団体条例等に従って適切に処分すること。決して河川、湖沼、下水道等の水系や地下水を汚染するおそれのある場所には捨てないこと。
- 食品、食器、飼料等と区別し、小児の手の届かない乾燥した箇所に保管すること。
- 使用後、残った薬剤はラベル表示のある元の容器に密閉し、必ず保管場所に戻すこと。

2. 使用に際して気をつけること

(使用者に対する注意)

- 万一、誤って薬剤を飲み込んだ場合や、薬剤の使用により、頭痛、目や喉の痛み、咳、めまい、吐気や認められた場合や気分が悪くなった場合等には、使用を中止し、空気の清浄な場所で安静にして、直ちに医師の診察を受けること。医師の診察を受ける際には、ジフェニルエーテル系薬剤を含む殺虫剤を使用した旨、成分名(ピリプロキシフェン)、症状、被曝の状況等についてできるだけ詳細に医師に告げること。
- 万一、薬剤が目、口などに入った場合には、直ちに水でよく洗い流すこと。作業中に大量の薬剤を浴びた場合には、直ちに汚染された衣類を脱ぎ、シャワーを浴びるなどして大量の水で体に付着した薬剤を洗い落とし、清潔な衣類に着替えること。
- 薬剤の準備や散布中は、喫煙、飲食をしないこと。使用中又は使用後にトイレに行くときは、手や顔をよく洗うこと。
- アレルギー一體質等で刺激を感じた場合には、直ちに使用を中止すること。

(取扱い上の注意)

- 使用中に大量の薬剤の漏洩など周辺に被害を及ぼす可能性のある事故が発生したときは、直ちに警察または保健所に通報すること。
- 作業時の衣類は他の衣類と区別して洗濯し、防護具も洗剤を使ってよく洗うこと。
- 希釈に用いた機械器具類等は、石けん水等でよく洗うなど十分な手入れを行い、小児等が触れないようにすること。

【製品情報お問い合わせ先】

住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社 アニマルヘルス営業部  
〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号  
TEL 03-6837-9481

ラモスは住友化学(株)の登録商標



獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/jiyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。